

Quarterly Report

四半期活動レポート

2023年01月-03月

2023

vol.10



Fukuoka Smart City Community

CONTENTS

四半期活動レポート (2023年1月-3月)

P. 01 > **Fukuoka Smart City Communityについて**

P. 02 > **会員からのひとこと**

- ▶ 株式会社グッデイ
- ▶ 九州旅客鉄道株式会社
- ▶ 西部ガスホールディングス株式会社
- ▶ 株式会社西日本シティ銀行

P. 03 > ▶ 西日本鉄道株式会社
▶ 株式会社福岡銀行
▶ 福岡地所株式会社
▶ LINE Fukuoka 株式会社
▶ 福岡市

P. 04 > **進捗のご報告**

- ① 北九州市立 篠崎中学校 オンライン授業
- 背景
- 実施概要

P. 05 > ■ 講義を受けて
| 生徒の皆さんから
■ 担当教諭インタビュー

P. 06 > ② FUKUOKA SMART CITY AWARD
大学生向けアイデアアワード(社会実装編)
■ アクション内容

P. 07 > **定例での活動について**

- ▶ 全体会議(毎月1回)
- ▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなでつくってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)の共同事業体として、市民の納得・満足を追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラウンドを持った企業が組織や役割を超えてより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに限定しない柔軟なアイデアで、市民のためにできることをどんどん実行します。



※福岡市はオブザーバーとして参画

博多や天神といった主要エリアの再開発が進む福岡の街は、現在大きな変化の真っ只中にあります。そして、長く続く感染症の流行も新たなフェーズに移行しようとしている2023年春以降は、その変化がより一層加速していくことが予想されます。そんな過渡期にある福岡で、FSCは発足3年目を迎えました。私たちはこれからも、その時々々のまちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して施策の実施を進めてまいります。

会員からのひとこと

FSC会員企業のメンバーに 新年度の抱負を聞きました!

2020年10月に発足したFSCも3年目に入りました。
2023年4月に新年度を迎えたことを受け、
会員メンバーの代表者に今年度の抱負を聞きました。



嘉穂無線ホールディングス株式会社

代表者コメント マーケティング部 担当者

弊社が運営するグッデイは「家族でつくるいい一日」の実現のため活動しています。防災に強いホームセンターとしてのグッデイはもちろん、地域の皆さまと関われる機会として小学生向けのワークショップなども日々開催しています。そのような地域との繋がりを通して、行政や一つの企業では成しえない、そして面白い企画をできればと思います。

九州旅客鉄道株式会社

代表者コメント 事業開発本部 担当者

弊社は豊かなまちづくりモデルの創造を中期経営計画の重点戦略として掲げ、九州の持続的な発展に取り組んでおります。今年度はFSC会員の皆さまと共に、「福岡」がより愛されるまちに成長していくため、アジャイルなまちづくりをソフト面から推進し、「住みたい・働きたい・訪れたい」「福岡」の実現に向け担当として邁進していきます！

西部ガスホールディングス株式会社

代表者コメント 事業開発部 担当者

地域との「つながり」を創ることを会社のビジョンに掲げており、その実現に向けてFSCでも様々な取り組みを行っています。今年度は、いち市民としてやりたい!と思ったことを自由に気軽にまずはやってみて、新たな「つながり」を生み出します。そして、この「つながり」から価値を創造し、市民の皆さまへ還元していきたいと思えます！

株式会社西日本シティ銀行

代表者コメント デジタル戦略部 担当者

西日本シティ銀行は創業支援への取組強化や地域活性化への積極的な関与、さらに地方創生・SDGsの視点からの地域課題の解決に向けて取り組んでいます。FSCの活動を通し、市民も企業も、共に街づくりに参加できる新しい「繋がり」づくりを目指します。この街に関わる皆さまと、この街の未来を共に「ソウゾウ」できたら嬉しいです。

西日本鉄道株式会社

代表者コメント 自動車事業本部 担当者

弊社グループの企業メッセージである「まちに、夢を描こう。」を日々実践しています。これからも、業種も業態も全く違うFSCの参画企業の皆さまと化学反応を起こし、福岡のまちが今よりもっと便利になっていく取り組みを行ってまいります。そしてより一層公共交通を身近に考えていただけるきっかけとなれば嬉しいです。

株式会社福岡銀行

代表者コメント 営業統括部 担当者

福岡銀行は、福岡で暮らす皆さまが少しでもお金に関する知識を広げ、豊かな生活を送ることを目指しています。取り分け若い内からの金融教育が重要と考えており、学生向けに様々な金融教育を推進しています。今回FSCでお金に関する授業を行ったように、これからもFSCで活動の幅を広げていければと思います。

福岡地所株式会社

代表者コメント 経営管理部 担当者

弊社が志しているのは、福岡のポテンシャルを引き出し、アジアのハブにすること。だからこそ、「福岡をもっと面白く」という観点にこだわり、常に数十年先の未来まで見すえた街づくりを行っています。FSCの理念も、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献することですので、個性豊かな参画企業の皆様とともに、FSCの活動を通して、様々な角度で福岡のまちに貢献できればと考えております。

LINE Fukuoka 株式会社

代表者コメント DX・Smart City センター 担当者

発起人兼事務局として、これまでも一つの企業だけでは与えられないインパクトをFSCで形にしてきました。今年も引き続き、第一線で活躍されている多種多様な領域の会員企業の皆様と一緒に、大好きな福岡のまちがもっと便利で住みやすくなるための施策を考え、発信していきます。ご期待ください。

福岡市 <オブザーバー>

代表者コメント 企画調整部 担当者

福岡市は、多様な皆さまと共に地域・社会課題の解決に取り組んでいます。FSCとは発足当初からよりよい市民生活の実現を目指して、防災や感染症対策などの取り組みにおいて連携してまいりました。これからもFSC会員企業様の持つ資源や魅力、強みを活かし、地域の活性化や市民サービスの向上に繋がる活動が多く生み出されていくことを期待しています。



進捗のご報告

1

北九州市立 篠崎中学校 オンライン授業

教育

地域コミュニティ



▲北九州市立篠崎中学校

2023年2月24日に、北九州市立篠崎中学校2年生の生徒約170名に向けて、オンラインで講義を実施しました。

■ 背景

コロナ禍で校外学習などの行事や、キャリア教育の機会が減っている状況で進路選択の時期に差し掛かっている中学2年生(当時)に対し、会社の現場や働く人の雰囲気を伝えて欲しいとご要望をいただき、昨年に引き続き今回の講義を実施することとなりました。

■ 実施概要

第一部は、総合の時間でIOTやAIによって変わる暮らしを学ぶ中で、FSC会員企業が行っている取り組みをLINE Fukuoka株式会社、株式会社福岡銀行が「福岡の暮らしの中のSociety5.0」として紹介。第二部は、FSCの会員企業のメンバー3名が中学生の進路や将来の夢やなりたい職業について事前に貰っていた質問へ回答しました。全員が別拠点からオンラインで参加し、タブレットで参加する生徒たちと一堂に会しました。

もくじ

- [1] Fukuoka Smart City Communityについて
- [2] 福岡の暮らしの中のSociety5.0
 - Society5.0 × FSC会員企業
 - Society5.0 × 顧客 (福岡銀行)
 - Society5.0 × 市民 (福岡市)
 - Society5.0 × 社員 (LINE Fukuoka)
- [3] みなさんからの質問への回答 (キャリア教育)

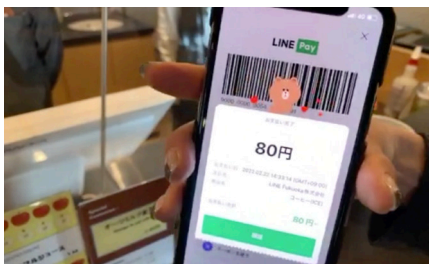
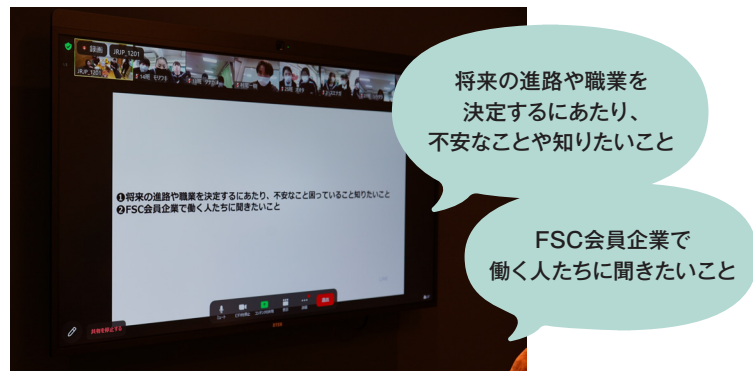
▲講義のプログラム内容



▲LINE Fukuoka 株式会社からの講義を行う担当者



▲株式会社福岡銀行の講義内容(一部)



▲デモンストレーションの様子



▲生徒から事前に寄せられた質問に回答するFSC各社担当者 (九州旅客鉄道株式会社・西部ガスホールディングス株式会社・西日本鉄道株式会社)

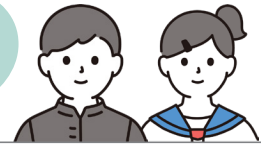
■ 講義を受けて | 生徒の皆さんから

普段聞けないことを聞けたり体験することができました。将来やりたいことがなくて不安だったけど、この授業を受けて自分の興味、関心があることに挑戦して生かしていくことが大切だと気づきました。自分の今後の人生に生かしていきたいです。この度はありがとうございました。

違う業種の会社が一つになって福岡をより良くしようと努力されていることを知ってすごいなと思いました。普段の生活で何気なく利用しているLINEや銀行のことを、職員の方から知れてこの機会があつてよかったなと思います。

自分にとって、とても身近な企業ばかりだったので興味深かった。説明もわかりやすかったし、雰囲気も良くて働いてみたくなった!

これからの進路や
将来の夢に
生かしていきたい!



JRや西鉄、福岡銀行などたくさんの方が集まって、自分の質問へ丁寧に答えてくださったのが嬉しかったです。福岡市のLINEアカウントの説明が一番印象に残り、実際にアカウントを入れてやってみたいです。

会社の魅力や質問への受け答えなどがとてもスムーズにできていて同じ場所にいるような感覚になれる授業でした。授業を受けて自分の職業の選択肢が増えてとてもためになりました。

▲事後アンケート(一部抜粋)

中学校向けオンライン授業について

■ 担当教諭インタビュー

北九州市立 篠崎中学校▶
教諭 村尾先生
(2023年2月時点)



—— 昨年に引き続きFSCに講義を依頼した背景を教えてください

「前任の先生からの紹介もありますが、生徒たちが“学校”という世界だけで日々生活を送っていることを課題だと感じていました。今の中学二年生は入学時よりコロナ渦で、行事やイベントそのものや、様々な職業の方から話を聞く機会がなく、担当教員として、もっと外の世界を知って社会に開いていって欲しいと考え、この講義が良いきっかけになるのではないかといい、お声かけさせていただきました」

—— 実際に講義を受けてみてどうでしたか

「まず全員参加で受講できた点が良かったです。また座学だけでなく、オフィスツアーなどを通して会社や働く方の雰囲気を知れたことが良かったです。一番生徒に好評だったのは、リアルタイムでチャットで受け答えいただいたことです。実際に働いている方とコミュニケーションを取ることで、その場の雰囲気を味わえることができますし、何より生徒たちが楽しそうでした」

—— 講義の前後で変わったことはありますか

「生徒の進路や将来に向き合う姿勢が変わりました。キャリア教育の質問の中で、『現時点で将来の夢がなくてもいい、中学生生活を一生懸命過ごすことが大事。』との回答を受け、多くの生徒が抱えていた漠然とした不安を払拭でき、今自分は何をしないといけないかを考えそれを逆算して行動できる姿勢が見られました」

—— 今後の抱負をお聞かせください

「生徒たちだけではなく、教員自身も学校以外の社会を知る機会が少ない一方で、生徒たちには社会を教えないといけないという葛藤を抱えていました。このような機会により、実際の会社の雰囲気や働き方を知ることができ、生徒と教員全員にとって気づきの多い時間になりました。今後は教員だけが授業をするのではなく、地域のプロフェッショナルが子ども達と交流できる機会をもっと作っていききたいと思います」



2 FUKUOKA SMART CITY AWARD 大学生向けアイデアアワード (社会実装編)

環境・エネルギー

地域コミュニティ

こどもたちのワークショップ博覧会
ワークショップコレクション
in 福岡 2023

URL : <https://wsc-fukuoka.jp/>

FSCでは、2021年秋に開催した大学生向けアイデアアワード「FUKUOKA SMART CITY AWARD」にてグランプリを受賞したチーム(あなた×エシカル消費)の活動を継続してサポートしています。2023年3月25日・26日は株式会社グッデイらが主催する「ワークショップコレクション in 福岡2023」に出展した株式会社福岡銀行のブースにて「化粧品を使ったモノづくり体験」を実施しました。



▲(左から順に)藤井 岬さん/長野 愛子さん

■ アクション内容

- 要らなくなった化粧品を使って、自分の好きな色のスライムを作る
- 要らなくなった化粧品から作ったクレヨンを使って、参加者みんなで大きな絵を完成させる

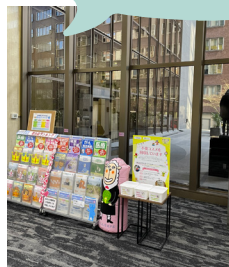


▲親子で体験される様子

当日使用した化粧品は、福岡銀行本店営業部に設置された回収BOXに集まったものを使用しました!



▲参加者みんなで完成させた大きな絵



今後も、このような取り組みを通して「ものの大切さ」を子ども達に提供するとともに、SDGsに対する様々な取り組みを行ってまいります。

定例での活動について



※写真はイメージです

▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

1~3月期には以下の日程にて実施しました。

- 1月5日(木)
- 2月2日(木)
- 3月2日(木)

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。今回のテーマは「ESG・SDGs」。

1・3月期には以下の企業が発表を行いました。

- 1月:株式会社福岡銀行「金融リテラシー向上に向けた取り組み」
- 3月:西部ガスホールディングス株式会社「カーボンニュートラルアクションプランについて」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

〈Fukuoka Smart City Community 概要〉

名称/Fukuoka Smart City Community

事務局所在地/福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日/2020年10月14日

主な事業内容/市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト/<https://fukuoka.smartcity-community.jp>